

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キリアン		
○保護者評価実施期間	2025/4/1		2026/3/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025/4/1		2026/3/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/1		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に寄り添って将来を見据えた支援を行っている。 利用者に関わる時間が多く、本気で向き合って支援を行っている。	支援内容、活動内容に時間をかけて職員全員が工夫し、対象児童に対してきめ細やかな支援を心掛けている。 就労事業所や地域との連携を行うことで楽しく支援できている。	専門的支援を行うことで、より目標に向けた支援に取り組む。 特性に合った支援内容の検討と保護者や各関係機関との連携を図る。
2	支援内容や活動内容の検討に時間をかけることができるため、支援自体が豊富で身近に成長を感じ取れる。 イベントが楽しい時間だけではなく成長を促す工夫をしており、貴重な経験の場になっている。	支援会議の時間や研修を行うことで支援内容と活動内容の検討が細かくできている。 適材適所の職員配置など適正に行うことで支援内容を充実できている。	イベントなどの企画や個別支援の時間を充実させることで、楽しく成長できるように支援する。 職員の資格や特徴などを活用できる支援内容の検討。
3	保護者支援や保護者相談を行うことでより良い支援が行えている。 保護者の相談内容を職員間で共有しながら支援ができている。	事業所のみで解決せずに相談室や保健センターや役所に相談し、アドバイスをいただきながら支援が行えている。 各関係機関と良好な関係を築くために細かく連携している。	各関係機関だけではなく、外部機関の評価なども参考に支援を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者対応が職員によって違うことがあり、統一する必要がある。	事業所としての理念や対応方法が統一できずに、保護者対応させていた。	事業所会議などで保護者対応のマニュアル作成し、職員全員に周知させる。 検討が必要な際は上長に確認してから対応していく。
2	災害時の避難手順や感染症にかかってしまったときのお休み期間など明確な基準が知りたい。	避難訓練の報告が不足している。 インフルエンザなどの感染症に罹患した場合の欠席期間の明示が不足し、保護者任せになっていた。	避難訓練に関して事業所として実施した場合は報告を徹底し、周辺環境なども合わせてお知らせする。 感染症ごとにお休み期間を明示し、ある程度の基準として認識していただく。
3			